

## ごあいさつ



経営管理委員会会長

港 義弘



代表理事理事長

岡山 勝

皆さまには、平素より香川県信用農業協同組合連合会ならびにJAバンク香川をお引き立ていただき、誠にありがとうございます。併せて、新型コロナウイルス感染症によりお亡くなりになられた方々に謹んで哀悼の意を表するとともに、感染された方々やそのご家族、不安のなかにおられる方々に対しまして、心からお見舞いを申し上げます。

本年も当会をより深くご理解いただくため、当会の経営方針、業務内容、最新の業績等についてまとめた「JAバンク香川信連 DISCLOSURE 2021」を作成いたしました。ぜひ、ご一読いただき、当会に対するご理解をより深めていただければ幸いです。

当会は、昭和23年8月の創立以来、香川県農業の発展と農家経済の向上はもとより、地域金融機関として地域経済・社会の繁栄に貢献する金融機関を目指して業務を展開してまいりました。これもひとえに皆様のご愛顧、ご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

さて、令和2年度のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、雇用・所得環境に弱い動きがみられ、個人消費も低い水準で推移するなど、厳しい状況にあるなか、感染拡大の防止策や、各種政策の効果等もあり、依然先行き不透明感はあるものの景気は徐々に持ち直してきている状況となっています。また、農協改革については、一層の資材価格の引き下げや信用事業の健全な持続性を課題とし、今後も自己改革の実施状況を把握したうえで、組合員との関係性を改めて強化し、農業と地域社会に根差した自立の組織として、引き続き自己改革を継続しています。一方、信用事業については、新型コロナウイルス感染拡大に伴う金融経済環境への影響が懸念されるなか、正組合員の高齢化や減少に加え、組合員の態様の変化および利用者のニーズの多様化・高度化の進展を背景とした他業態からの農業金融分野への進出など、調達・運用の両面で、金融機関の競争が一段と激化する状況に直面しており、系統組織をあげてこの局面を乗り越えようとしています。

このようななか、当会は会員の負託に応えうる経営基盤の確立とJAバンクシステムの充実を最優先課題として取組み、会員への還元機能の充実、安定的・継続的収益の確保ならびに県域機能の充実とガバナンスを中心とした業務運営体制の強化に取り組んでいます。

また、令和3年度はJAバンク中期戦略（令和元年度～令和3年度）の最終年度を迎え、「持続可能なJA経営基盤の確立・強化」ならびに「農業者・地域から評価され、選ばれ、一層必要となる存在」の実現を目指して、県1JAの強みを生かし、「農業・地域の成長支援」、「貸出の強化」、「ライフプランサポートの実践」、「組合員・利用者接点の再構築」等の重点施策に取り組んでいます。

今後とも当会は地域金融機関としての社会的役割と責任を充分認識したうえで、経営資源の有効な活用および適切な配分を行い、JAバンク機能の一層の発揮に努める所存でございますので、更なるご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

令和3年7月

香川県信用農業協同組合連合会

経営管理委員会会長 港 義弘  
代表理事理事長 岡山 勝